



学校だより

郡山市立多田野小学校
第27号
令和6年11月1日(金)
文責：校長 宗像善吉



ありがとうございました!



10月26日(土)の土曜参観には、多くの保護者・ご家族の方々においでいただきありがとうございました。

子どもたちは、家族や参観者に自分たちの発表を楽しんでもらったり、うまく伝えられたりできるかとても心配していたようです。3年生と5年生、4年生と6年生は事前にお互いの発表を見て感想を述べ合い、発表当日がよりよい発表になるように取り組んでいました。当日の朝、登校する子どもたちの多くが、いつもより大きな声であいさつを返してくれているように感じました。



各学級の様子を見てみると、学習してまとめたことや考えたことを相手に伝えるように工夫して伝えようという気持ちや来た人に楽しんでもらおうという思いが伝わものになっていたように感じました。参観が終わった後の子どもたちの感想を聞いてみると、「うまくいかないところがあ

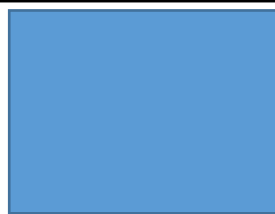


った」「ステージでやるより緊張しなかった」「楽しかった」「大きな声で発表できた」「やっぱり緊張した」などの感想が聞かれました。

保護者からは、「発表予定の後半に教室に行ったが、発表が終わっていた」「保護者の中には、多田野ワールド(体育館での各学年約20分)の方がよかったと思っている保護者もたくさんいる」などのご意見をいただきました。

今回の土曜参観は、「子ども一人一人が主役になれるように」「当日までの準備をする中で、一人一人が目的をもって調べたり考えたりできるように」「相手意識をもって発表したり接したりできるように」などということ念頭に置いて行いました。参観者の距離が近いものになったのではないのでしょうか。お子さんが複数いらっしゃる場合には、発表の時間が重ならないようにすることや発表の時刻が早まらないようにするなど改善も含め、来年度の行事の在り方を考えていきます。

就学時健康診断



10月17日(木)は、来年度多田野小・河内小に入学する予定児童の健康診断が行われました。総勢20名の一行は、2つの班に分かれて視力・聴力検査、内

科・歯科の検診を行いました。どの子も緊張している様子でしたが、スムーズに健診を受けることができました。

健康診断を受けている間、保護者の方は「子育て講座」を受講しました。講師の西館先生の奥様は、本校に勤務されたことがあったとのことでした。子育て講座を受講した保護者の中には、奥様にお世話になったという方もいて、不思議なご縁を感じる場面もありました。今回、健康診断を受けた子どもたちは、全員多田野小に入学するわけではありませんが、来年の4月に黄色い帽子にランドセルを背負って登校する1年生を今から心待ちにしています。



(裏面に続く)

NET 社会に生きる子どもたちと家庭

26号で県PTA研究協議会郡山・田村大会で担当となった第3分科会で、「NET社会に生きる子どもたちと家庭」というテーマで

さんからご講演をいただいたことをお知らせしました。5つの視点からお話をいただいたので今回は「SNS いじめとネットの危険」という点についてお伝えします。



さんは、包丁を例にしてお話くださいました。「包丁は料理に使用すれば便利道具であるが、人に向ければ命をも奪うとても危険なものになる。」

SNSも情報伝達のために大変便利なものですが、使い方によっては、人を傷つけ、命をも奪ってしまう危険なものになるとおっしゃっていました。

さんは、SNSによって事実無根な誹謗中傷を受けて苦しんだ被害者でもあります。その恐ろしさや辛さを誰よりもよく知っています。講演を聞いて私たちも子どもたちもSNSを使う時に、その危険性について深く意識していないのではないかと感じました。保護者の皆様はいかがですか。



こころの劇場

6年生
は、10日
(木)に郡山



市民文化センターにおいて劇団四季による「ふたりのロッテ」というミュージカルを鑑賞してきました。これは、「こころの劇場」として毎年6年生を対象に開

かれるものです。コロナ禍中の2年前は、動画が配信され教室観賞しましたが、コロナ禍が明けた去年から再び郡山市民文化センターで鑑賞できるようになりました。ほとんどの6年生は、初めてミュージカルを見るようで、「楽しかった」「迫力があった」などの感想を述べていました。

全員が揃った帰りのバスは、ミュージカルや日常の話題で大変盛り上がり。その様子をにこやかに見守る担任の佐原と校長でした。子どもたちにとっても私たちにとってもとても良い一日になりました。

